

5

再セットアップ

本製品に同梱されているリカバリ CD またはカスタム・リカバリ CD を使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態に戻すことができます。

本章では、リカバリ CD およびカスタム・リカバリ CD の使いかたについて説明します。

- 1** 再セットアップとは 144
- 2** リカバリ CD / カスタム・リカバリ CD とは 145
- 3** 標準システムを復元する 146
- 4** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 モデル) 151
- 5** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 モデル) 154

1 再セットアップとは

システムやアプリケーションをご購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

● 再セットアップが必要なとき

次のようなときに、再セットアップしてください。

- Cドライブをフォーマットしてしまった
- ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
- 電源を入れても、システム（Windows）が起動しない
- パソコンが正しく動作しない
- プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう1度インストールしたい など

● 再セットアップする前に

「7章 困ったときは」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧くださいのうえ、解決できないときに再セットアップしてください。

再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめバックアップをとってください。

また、ハードウェアなどの設定は、すべてご購入時の状態に戻ります。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

② リカバリ CD / カスタム・リカバリ CD とは

① リカバリ CD とは (Windows XP / 2000 モデル)

Windows XP / 2000 モデルにはリカバリ CD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリ CD は、再セットアップのときに使用します。

☞ 「本章 3 標準システムを復元する」

Windows XP / 2000 モデルには、アプリケーション CD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーション CD は、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法については、アプリケーション CD をセットし、表示される画面をご覧ください。

リカバリ CD / アプリケーション CD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルには次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

- ・ Product Recovery CD-ROM
- ・ アプリケーション & ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリ CD は、再セットアップのときに必要です。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

再セットアップには、次の方法があります。目的にあった再セットアップ方法を選んでください。

システムを復元するときは、「標準システムを復元する」方法で行うことをおすすめします。

- 標準システムを復元する
ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているデバイスドライバやアプリケーションもすべて復元します。
☞ 「本章 3 標準システムを復元する」
- 最小構成でシステムを復元する
Windows のみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。
☞ 「本章 4 最小構成でシステムを復元する (Windows 98 モデル)」
- アプリケーションやドライバごとに再インストールする
プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。
☞ 「本章 5 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 モデル)」

3 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。



メモ

・復元の途中、一定時間キーを押さない（アキュポイントⅡの操作を含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。画面を表示するには、**[Shift]**キーを押すか、アキュポイントⅡを動かしてください。

1 準備

● 必要なもの

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

アプリケーションモデルの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

- Microsoft® Office XP Personal CD-ROM
- Microsoft® Bookshelf® Basic CD-ROM

● 準備

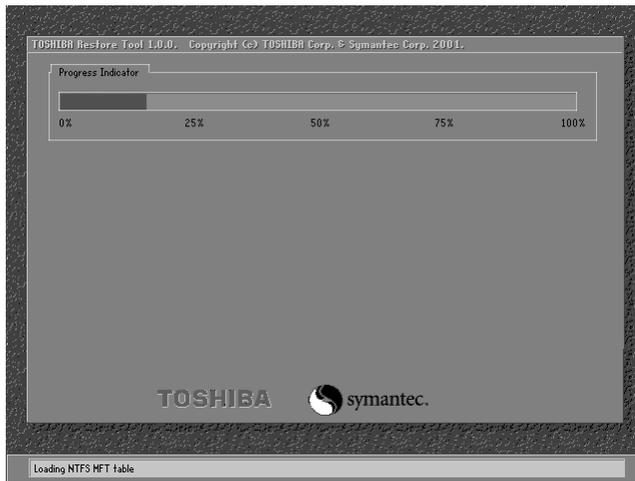
- 必要なデータを保存する
システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、フロッピーディスクなどにあらかじめバックアップをとって保存してください。
- パソコンを購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずしてください。
☞ 周辺機器の取りはずし ⇨ 「3章 本体の機能」

2 操作手順

● Windows XP / 2000 モデルの場合

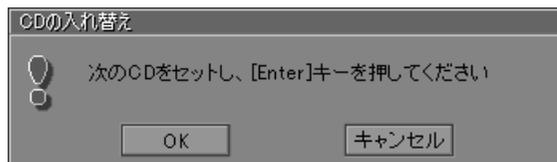
- 1 ACアダプタと電源コードを接続する
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 キーボードの**[C]**キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元を開始します！よろしいですか？」というメッセージが表示されます。
- 4 復元を行う場合は**[Y]**キーを、行わない場合は**[N]**キーを押す
[Y]キーを押すと、「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

- 5** 復元を実行する場合は[Y]キーを、復元を中止する場合は[N]キーを押す
復元中は、次の画面が表示されます。

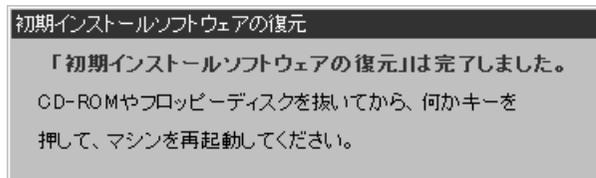


- 6** 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合CDを入れ替え、[Enter]キーを押してください。
処理が続きます。



復元が完了すると、終了画面が表示されます。



- 7** CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

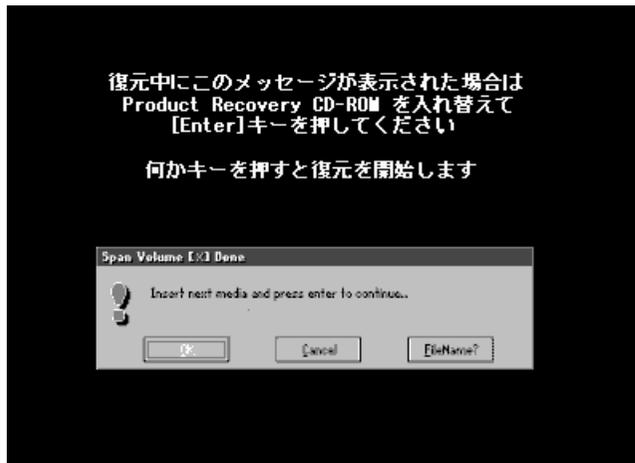
- 8** Windows のセットアップを行う

☞ Windows のセットアップについて ⇨ 「1章 2-2 Windows XPのセットアップ」、
「1章 2-3 Windows 2000のセットアップ」

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行なってください。

● Windows 98 モデルの場合

- 1 ACアダプタと電源コードを接続する
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 キーボードの[C]キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 4 [I]キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 5 [Y]キーを押す
処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。
- 6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



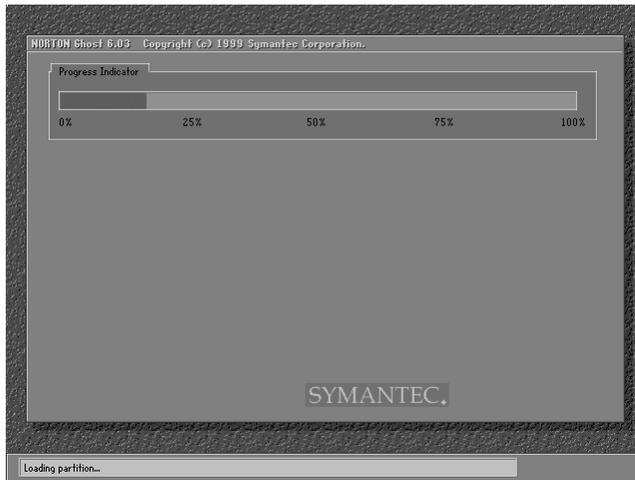
ここで表示される画面は、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。



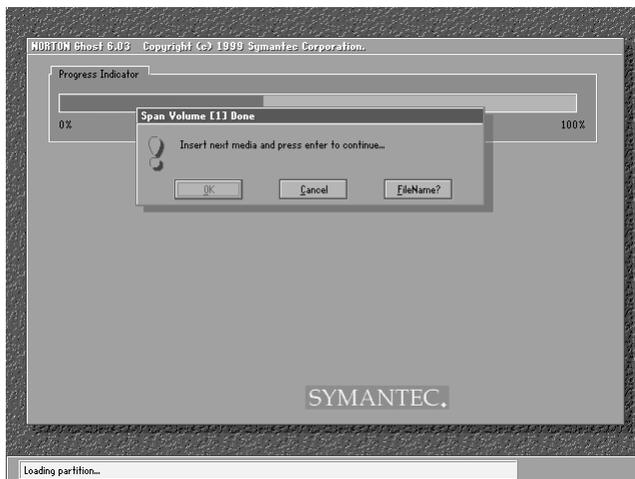
7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



復元が完了すると、終了画面が表示されます。

初期インストールソフトウェアの復元

「初期インストールソフトウェアの復元」は完了しました。
CD-ROMやフロッピーディスクを抜いてから、何かキーを押して、マシンを再起動してください。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windows のセットアップを行う

☞ Windows のセットアップについて ⇨ 「1 章 2-4 Windows 98 のセットアップ」

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行なってください。

☞ 周辺機器の接続について ⇨ 「3 章 本体の機能」

● アプリケーションモデルの場合

Microsoft Office ^(*) は、以上の手順では復元されません。

Windows のセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を必ず参照のうえ、復元してください。

(*) Microsoft® Office XP Personal

4 最小構成でシステムを復元する(Windows 98モデル)

Windowsのみを復元することができます。最小構成でシステムを復元します。ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされませんので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。

最小構成で復元した場合は、Windowsのセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション&ドライバCD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。

また、Windowsのセットアップの画面が、パソコンご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windowsのセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。



・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量(ご購入時のディスク使用量)が必要です。

1 準備

● 必要なもの

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書(本書)

● 準備

- 必要なデータを保存する
システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、フロッピーディスクなどにあらかじめバックアップをとって保存してください。
- パソコンを購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずしてください。
☞ 周辺機器の取りはずし ☜ 「3章 本体の機能」
- Product Keyを書き写す
最小構成で復元した場合は、Windowsセットアップ時にProduct Keyの入力が必要です。Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

2 操作手順

- 1 ACアダプタと電源コードを接続する
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 キーボードの[C]キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

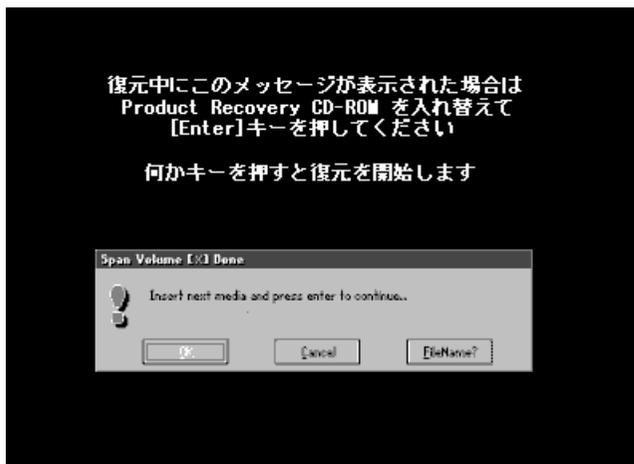
4 [2]キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



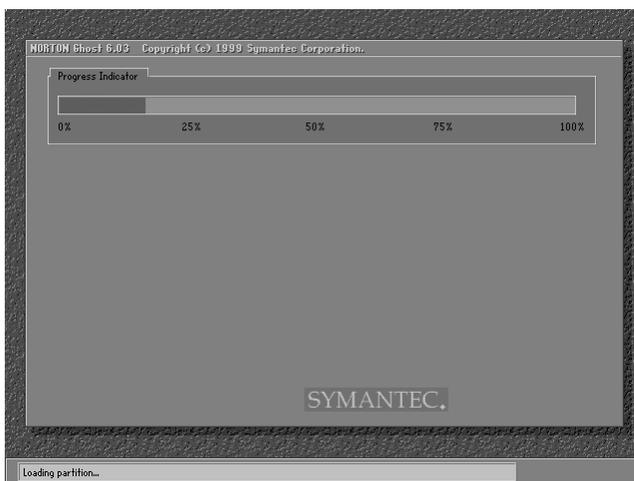
ここで表示される画面は、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。



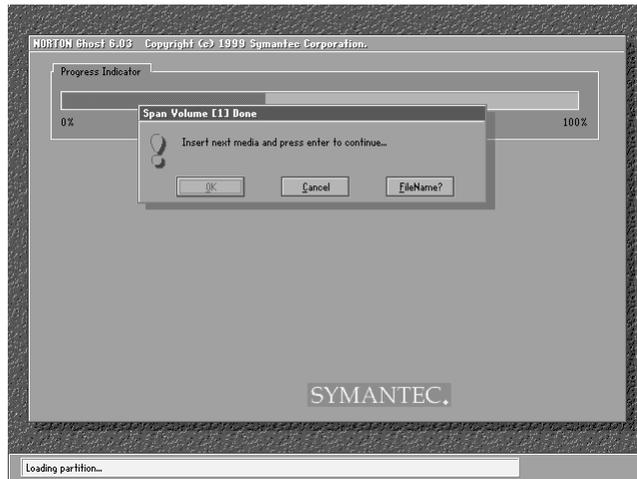
7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

パソコンが再起動し、[最小構成の復元]画面が表示されます。

9 表示されるメッセージを確認し、何かキーを押す

[Windows セットアップの確認]画面が表示されます。

10 **[Enter]**キーを押す

Windows セットアップウィザードが起動します。

11 Windows のセットアップを行う

画面の指示に従って操作してください。

セットアップ途中に、[最小構成システムへ復元時に必ずお読みください。]画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、**[▲]****[▼]**ボタンをクリックして画面を動かしてください。

読み終わったら、[閉じる]ボタン (**[X]**) をクリックし、画面を閉じてください。

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行なってください。

🔗 周辺機器の接続について ⇨ 「3章 本体の機能」

5 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションを指定して再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットする

アプリケーション & ドライバ CD-ROM は、複数枚入っている場合があります。

2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

[ファイルのダウンロード] 画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。



メモ

・すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行なってください。

アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

6

パソコンの取り扱い

日常のパソコンのお手入れやパソコンを廃棄するときなどについて説明しています。

- 1** 日常の取り扱いとお手入れ 156
- 2** アフターケアについて 162
- 3** 廃棄について 163

1 日常の取り扱いとお手入れ



- 注意**
- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
 - ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。
製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

● パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5～35℃、湿度 20～80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります。
本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

● 電源コード

電源コードのプラグを長期間にわたってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはほこりを拭き取ってください。

● キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。

コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずして、ただちにお買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

● 液晶ディスプレイ

● 画面のお手入れ

● 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

● 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

● サイドライト用FL管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにサイドライト用FL管（冷陰極管）が内蔵されています。サイドライト用FL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

● 表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

● アクュポイントⅡ（ポインティング装置）

ポインタを動かすポインティング装置をアクュポイントⅡといいます。

アクュポイントⅡは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アクュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アクュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

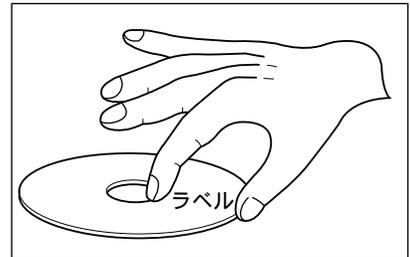
携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

● CD / DVD

* DVDはスリムセレクトベイにマルチドライブ（別売り）を取り付けた場合のみ

CD / DVDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CD / DVDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVDを読み込むことができなくなります。
- CD / DVDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVDの上に重いものを置かないでください。
- CD / DVDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD / DVDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。



- CD / DVDのデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD / DVDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。
- CD / DVDのかたよった位置にシールなどを貼らないでください。CD / DVDが正常に回転しなくなり、CD / DVDの損傷などの原因になります。

● フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。

フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環 境	使用時	保管時
温 度	5～35℃	4～53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

● フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にフロッピーディスクドライブをクリーニングしてください。

● SD メモリカード

SD メモリカードを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- SD メモリカードに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
SD メモリカードに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- SD メモリカードの接触面（コンタクトエリア）を触らないでください。
ごみや異物が付着したり、汚れると使用できなくなります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管をしないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 高温多湿の場所、また腐食性のある場所での使用、保管をしないでください。
- 持ち運びや保管の際は、SD メモリカードに付属のケースに入れてください。
- SD メモリカードが汚れたときは、乾いた柔らかい素材の布で拭いてください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。

● データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。

バックアップとはハードディスクやアプリケーションの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクなどにコピーしておくことです。

本製品は次のような場合、スタンバイ機能または休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長時間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失など、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

● 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。
電源を切った後も、Disk  LED、Slim Select Bay  LEDが点灯中は動かさないでください。
- ディスプレイを閉じてください。
- かばんなどにパソコンを収納するときは、必ず電源が切れていることをご確認ください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。
また、CDなどがセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
故障の原因になります。

2 アフターケアについて

● 保守サービスについて

保守サービスへのご相談は、『東芝 PC サポートのご案内』をご覧ください。

保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。

保守・修理に出す前に、ご自分で作成したデータの他に次のデータのバックアップをとってください。

- ・メール
- ・メールのアドレス帳
- ・インターネットの履歴
- ・インターネットのお気に入り

● 消耗品について

次の部品は消耗品です。

● バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）

長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。

充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパックと交換してください。

● 時計用バッテリー（交換は有償です）

● アクュポイントキャップ

消耗した場合は、同梱されている予備キャップを使用するか、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

● 補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品（本製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年です。

● バッテリーパックについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。



Li-ion

バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先
 社団法人 電池工業会
 TEL：03（3434）0261
 ホームページ：http://www.baj.or.jp

● パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が、LCD表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

企業でパソコンをご使用のお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。

東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。

使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきませうお願いいたします。

【お問い合わせ先】

東芝パソコンリサイクルセンター

〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町20-1

株式会社テルム内

TEL：045-510-0255

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・当社指定の休日を除く）

FAX：045-506-7983（受付時間：24時間）

● パソコン内のデータ消去について

パソコン内のデータは、「削除」や「フォーマット」を行なっただけでは、特殊なソフトウェアなどの使用により、消したはずのデータが再生されることがあります。

パソコンの廃棄の際に、ハードディスクに保存されたデータの完全消去を行う場合には専門業者に依頼もしくは市販のソフトウェアなどをお使いになることをおすすめいたします（有償）。

本件に関するお問い合わせは、東芝PCダイヤル（巻末参照）にご連絡ください。

● お客様登録（ユーザ登録）の削除について

お客様登録（ユーザ登録）されている製品を廃棄される場合は、「パソコンお客様ご登録係」までご連絡のうえ、登録の削除の手続きをお願いいたします。

【お問い合わせ先】

パソコンお客様ご登録係

TEL : 043-278-5997

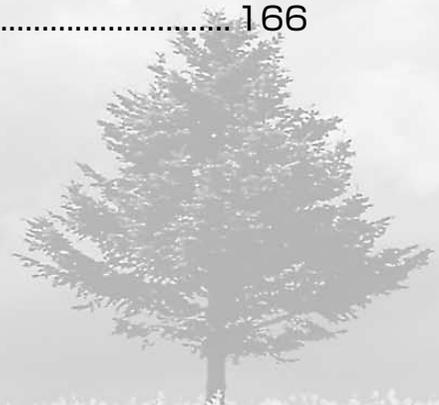
受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日・特別休日を除く）

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときは	166
----------	--------------	-----



1 困ったときは

パソコン本体を使ってうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解決法のヒントをご紹介します。

1 Q&A 集を見る前に

設定の確認によく使う、[コントロールパネル] の開きかたを説明します。

● Windows XP の場合

- 1 [スタート] ボタンをクリックする
- 2 [コントロールパネル] をクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

● Windows 2000 / 98 の場合

● 方法 1 - [スタート] メニューから開く

- 1 [スタート] ボタンをクリックする
- 2 [設定] にポインタを合わせる
- 3 [コントロールパネル] をクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

● 方法 2 - [マイコンピュータ] から開く

- 1 デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 2 [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

2 Q&A 集

● 電源を入れるとき / 切るとき…

- 電源が入らない / システムが起動しない 168
- 自動的にプログラムが実行される 169
- 電源が切れる 171
- 電源が切れない 171

● 表示・画面について

- 画面に何も表示されない 171
- 画面が見にくい 173

● アプリケーションについて

- アプリケーションが使えない 174

● 印刷について

- 印刷できない 176

● キーボード/マウス/アキュポイントIIについて

- 思うように文字が入力できない 177
- マウス/アキュポイントIIが使えない 178

● 周辺機器についてのトラブル

- CD/DVD、CD-ROMドライブ/CD-R/RWドライブ/マルチドライブについて ... 179
- PCカードについて 181
- SDメモリーカードについて 182
- フロッピーディスク、フロッピーディスクドライブについて 183
- LAN機能が使えない 184
- USB対応機器について 184
- 赤外線通信について 185

● 音量について

- スピーカから音が聞こえない 186
- おかしな音が聞こえる 187

● 調子がおかしい！

- テレビ・ラジオに障害が出る 187
- 休止状態にならない 188
- パソコンの動作がおかしい 189
- その他調子がおかしい 190

● 不明なメッセージが出た！

..... 191

● 異常や故障の場合

..... 194

● 東芝PCサポートのご案内

..... 194

● 電源を入れるとき／切るとき…

● 電源が入らない／システムが起動しない



パソコンの電源が入らない



電源スイッチを押す時間が短い
電源スイッチをしばらく押し続けてください。



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる
(Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)



バッテリーの充電量が少ない
次の操作を行なってください。

- ・ 本製品用の AC アダプタを接続する
他製品用の AC アダプタは使用できません。
- ・ 充電済みのバッテリーパックを取り付ける
☞ バッテリーパックの取り付け ☞ 「3章 4-3 バッテリーパックを交換する」



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる
(DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)



電源の接触が悪い
次の操作を行なってください。

- ・ AC アダプタを抜き差しする
- ・ バッテリーパックを抜き差しする



危険防止機能が働いた
パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5 ～ 35℃ です。
以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

電源を入れたが、システムが起動しない

休止状態による起動ができなくなった (98)

休止状態によるパソコンの起動をせずに、システムを再起動してください。
この場合、休止状態によって保存されたデータは失われます。

- ① 電源を切る
- ② [BackSpace]キーを押しながら、電源スイッチを押す
次のメッセージが表示されます。
[WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY
KEY TO CONTINUE.]
- ③ 何かキーを押す

「Windows が正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まる (98)

- ① 前回使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った
スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起
動します。
正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

自動的にプログラムが実行される

Windows の起動と同時にプログラムが実行される

- ① [スタートアップ] に登録されている
[スタートアップ] に登録されていると、Windows 起動と同時にプログラ
ムが自動的に起動します。アプリケーションをインストールすると、自動
的に [スタートアップ] に登録される場合があります。
次の手順で設定を変更してください。

XP

- ① [スタート] ボタンを右クリックする
- ② 表示されるメニューから [開く] をクリックする
[スタートメニュー] 画面が表示されます。
- ③ [プログラム] アイコンをダブルクリックする
- ④ [スタートアップ] アイコンをダブルクリックする
[スタートアップ] 画面が表示されます。
- ⑤ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[ファイルとフォルダのタ
スク] の [このファイルを削除する] をクリックする
[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。
- ⑥ [はい] ボタンをクリックする
- ⑦ [スタートアップ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする

2000

- ① [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー ...] をクリックする
- ② [詳細] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- ③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [閉じる] ボタンをクリックする

98

- ① [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー ...] をクリックする
- ② [[スタート] メニューの設定] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- ③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
- ⑤ [閉じる] ボタンをクリックする

**Windows のタスクスケジューラで設定されている**

Windows のタスクスケジューラで [実行する] に設定されていると、設定したスケジュールに従ってタスクを実行します。アプリケーションをインストールすると、自動的にタスクに登録される場合があります。次の手順で設定を変更してください。

XP

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [タスク] をクリックする

2000 98

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [タスク] をクリックする
- ② 設定されているタスクをダブルクリックする
プログラムが実行された時間などを参考に選択してください。
- ③ [タスク] タブで [実行する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

● 電源が切れる

 パソコン使用中に電源が切れる

 危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

 警告音が鳴り、点滅していた Battery LED が消灯した

 バッテリーの充電量が少なくなった

引き続き使用する場合は、次の操作を行なってください。

- ・ AC アダプタを接続する
- ・ 充電済みのバッテリーパックを取り付ける
- ☞ バッテリーパックの交換 ⇨ 「3章 4-3 バッテリーパックを交換する」

● 電源が切れない

 電源スイッチを押しても電源が切れない

 次の操作を行なってください。

- ・ 電源スイッチを5秒以上押す
- ・ ACアダプター→バッテリーパックの順に取りはずし、バッテリーパック→ACアダプタの順に取り付ける

● 表示・画面について

● 画面に何も表示されない

 画面に何も表示されない
(Power LED が点灯していない、またはオレンジ点滅している場合)

 電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっている
電源スイッチを押してください。



画面に何も表示されない
(Power LED が点灯している場合)



表示自動停止機能が働いた

次の操作を行なってください。

- ・ **[Shift]**キーや**[Ctrl]**キーを押す
- ・ マウスやアキュポイントⅡを操作する



・ CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがありますが、故障ではありません。



インスタントセキュリティ機能が働いた

インスタントセキュリティ機能については、「3 章 2- **[Fn]**キーを使った特殊機能キー」をご覧ください。解除するには、次の操作を行なってください。

- ・ **[画面のプロパティ]** でスクリーンセーバのパスワードによる保護を設定していない場合

[Shift]キーや**[Ctrl]**キーを押す、またはアキュポイントⅡを操作する

- ・ **[画面のプロパティ]** でスクリーンセーバのパスワードによる保護を設定 (**[スクリーンセーバー]** タブで、**[パスワードによる保護]** または **[再開時によくこそ画面に戻る]** をチェック) している場合

チェックボックスは、スクリーンセーバーを選択すると有効になります。

- ① **[Shift]**キーや**[Ctrl]**キーを押す

複数のユーザアカウントを設定している場合は、ユーザ名をクリックしてください。

- ② パスワード入力画面に次のパスワードを入力し、**[Enter]**キーを押す

XP 2000 : Windows のログオンパスワード

98 : **[画面のプロパティ]** の **[スクリーンセーバー]** タブで設定したパスワード



表示装置が適切に設定されていない

[Fn]+**[F5]**キーを 3 秒間押し続けてください。

表示がパソコン本体の液晶ディスプレイに戻ります。

表示装置の切り替え

⇨「3 章 11- CRT ディスプレイやテレビを接続した場合」

● 画面が見にくい



CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される



他の電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカーなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。



メモ

・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。



画面が暗い



画面の輝度が適切ではない

次の手順で画面の輝度（8段階）を変更してください。

■方法 1

・ **[Fn]+[F6]** または **[Fn]+[F7]** キーで調節する

[Fn]+[F6] キーを押すと、**[F6]** キーを押すたびに画面の輝度が下がります。

[Fn]+[F7] キーを押すと、**[F7]** キーを押すたびに画面の輝度が上がります。

■方法 2

① XP

[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック - [東芝省電力] をクリックする

[コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする

② [電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする

③ [省電力] タブで [モニタの輝度] を設定する

④ [OK] ボタンをクリックする



メモ

・液晶ディスプレイの点灯直後は、約 18 秒間、輝度の変更はできません。その間、液晶ディスプレイの点灯を安定させるため、自動的に最高輝度となります。



サイドライト用の冷陰極管が消耗している

お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。



メモ

・ディスプレイに装着されているサイドライト用の FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。



色が汚い



少ない色数で設定されている

次の手順で設定を変更してください。



- ① [コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- ② [画面解像度を変更する] をクリックする
- ③ [設定] タブの [画面の解像度] で解像度を変更する
- ④ [OK] ボタンをクリックする



- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [設定] タブで [画面の色] (), [色] () を [HighColor] や [TrueColor] に変更する
- ③ [OK] ボタンをクリックする



・解像度によっては [TrueColor] に設定できません。

● アプリケーションについて

アプリケーションの使いかたについては、『アプリケーションに付属の説明書』、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

● アプリケーションが使えない



アプリケーションが使えない



正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。



アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム (OS) が限られている場合があります。

☞ 『アプリケーションに付属の説明書』

**メモリが足りない**

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

☞ メモリの増設 ☞ 「3章 10 増設メモリ」

**システム構成を変更していない**

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。

**アプリケーションが操作できなくなった****アプリケーションを強制終了する**

この場合、保存していないデータは消去されます。

XP

- ① **[Ctrl]+[Alt]+[Del]**キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションをクリックする
- ③ [タスクの終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

2000

- ① **[Ctrl]+[Alt]+[Del]**キーを押す
[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。
- ② [タスクマネージャ] ボタンをクリックする
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ③ [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションのタスクをクリックする
- ④ [タスクの終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。
- ⑤ [Windows タスクマネージャ] 画面を閉じる

98

- ① **[Ctrl]+[Alt]+[Del]**キーを押す
[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。
- ② [応答なし] と表示されているアプリケーションをクリックする
- ③ [終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

● 印刷について

● 印刷できない



印刷ができない



プリンタの電源が入っていない

パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直してください。



正しく接続されていない

接続ケーブルを正しく接続し直してください。



接続しているプリンタと違うプリンタを設定している

プリンタの設定を確認してください。

① XP

【コントロールパネル】を開き、【プリンタとその他のハードウェア】をクリック - 【インストールされているプリンタまたはFAXプリンタを表示する】をクリックする

2000 98

【スタート】 - 【設定】 - 【プリンタ】をクリックする

② 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする

③ 表示されたメニューの「通常使うプリンタに設定」をクリックし、チェックをつける



最後まで正しく印刷できない



ECPに対応していないプリンタを使用している

プリンタのモードを双方向に設定してください。

① XP

【コントロールパネル】を開き、【プリンタとその他のハードウェア】をクリック - 【東芝HWセットアップ】をクリックする

2000 98

【コントロールパネル】を開き、【東芝HWセットアップ】をダブルクリックする

② 【プリンタ】タブで【プリンタポートモード】を【双方向】に設定する

③ 【OK】ボタンをクリックする

**プリンタドライバを更新する**

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。
Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロードし、ドライバ
を更新できる場合があります。



上記のすべてを行っても印刷できない



Windows を終了し、パソコンを再起動する



プリンタのセルフテスト（印字テスト）を実行する

セルフテストができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリン
タの製造元にご相談ください。

● キーボード／マウス／アキュポイントIIについて

● 思うように文字が入力できない



キーを押しても希望の文字が入力できない



キーボードの文字入力の状態が合っていない

キーボードの文字キーは、キーボードの入力の状態によって、入力される
文字が異なります。次のキーを使ってキーボードを希望の状態にしてくだ
さい。

XP 2000

- ・ **[Shift] + [Caps Lock 英数]** キー
- ・ **[Ctrl] + [Shift] + [カタカナひらがな]** キー
- ・ **[Fn] + [F10]** キー
- ・ **[Fn] + [F11]** キー

98

- ・ **[Shift] + [Caps Lock 英数]** キー
- ・ **[Ctrl] + [Shift] + [Caps Lock 英数]** キー
- ・ **[Alt] + [カタカナひらがな]** キー
- ・ **[Fn] + [F10]** キー
- ・ **[Fn] + [F11]** キー

☞ 「3章 2 キーボード」



キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう



キーボードドライバが正しく設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

XP

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ④ [キーボード] を [日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー)] に設定する
- ⑤ [デバイスマネージャ] を閉じる

2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ③ [キーボード] を [日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー)] に設定する
- ④ [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑤ パソコンを再起動する

98

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] タブで [キーボード] を [106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl + 英数)] に設定する
- ③ [OK]、または [閉じる] ボタンをクリックする



どのキーを押しても、反応しない

設定は合っているが、希望の文字が入力できない



内部処理が正しく行われなかった

次の操作を行なってください。

- ・ パソコンを再起動する
- ☞ 「その他調子がおかしい - A. 強制終了し、再起動する」

マウス／アキュポイントⅡが使えない



マウスが使えない



マウスが認識されていない

次の操作を行なってください。

- ・ マウスを接続した状態で、電源を入れ直す
- ・ パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、もう 1 度パソコン本体の電源を入れる



新しいハードウェアとして認識されていない
次の手順でウィザードを実行してください。

① XP

[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック - [関連項目] の [ハードウェアの追加] をクリックする

98

[コントロールパネル] を開き、[ハードウェアの追加と削除] (2000)、
[ハードウェアの追加] (98) をダブルクリックする

② [次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。



アキュポイントIIとPS/2 マウスが同時に使用できない



ポインティング装置を同時に使用できるように設定されていない
次の手順で設定を変更してください。

ただし、マウスによって同時使用できない場合もあります。

① XP

[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック - [東芝HWセットアップ] をクリックする

98

[コントロールパネル] を開き、[東芝HWセットアップ] をダブルクリックする

② [ポインティング装置] タブで [ポインティング装置] を [内部/外部を同時使用] に設定する

③ [OK] ボタンをクリックする

● 周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「3章 本体の機能」もあわせてご覧ください。

● CD / DVD、CD-ROM ドライブ / CD-R/RW ドライブ / マルチドライブについて

* DVDはスリムセレクトベイにマルチドライブ(別売り)を取り付けた場合のみ



CD / DVD にアクセスできない



ディスクトレイがきちんとしまっていない
カチッと音がするまで押し込んでください。

CD / DVD のセット ⇨ 「3章 6-2 CD のセットと取り出し」



CD / DVD がきちんとセットされていない

ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。



ディスクトレイ内に異物がある

異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。



CD / DVD が汚れている

汚れているようなら、乾燥した布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。



CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブまたはマルチドライブが CD / DVD を認識していない

Slim Select Bay LED が点滅している間は、まだ認識されていません。消灯するまで待つて、もう 1 度アクセスしてください。



CD / DVD をセットしても自動的に起動しない



自動起動に対応していない CD / DVD を挿入している

自動起動に対応していない CD / DVD は自動起動できません。『各 CD / DVD に付属の説明書』などで確認してください。

対応していないときは、次の手順で起動することができます。

① XP

[スタート] - [マイコンピュータ] をクリックする

2000 98

[マイコンピュータ] を開く

② ドライブのアイコンをダブルクリックする



正しく動作する CD / DVD もあるが、動作しない CD / DVD もある



使用環境の設定が必要な CD / DVD を使用している

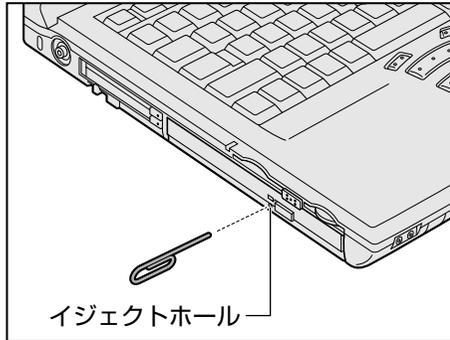
各 CD / DVD によって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『各 CD / DVD に付属の説明書』を読んで、それぞれの CD / DVD に合った環境を設定してください。CD-R、CD-RW は、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

CD / DVD が取り出せない

1 パソコン本体の電源が入っていない

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

故障などで電源が入らない場合は、ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。



● PC カードについて

1 PC カードの挿入が認識されない

1 PC カードを奥までしっかり差し込む

☞ PC カードの取り付け ☞ 「3章 8 PC カード」

1 PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

1 PC カードのコントローラモードが正しく設定されていない

セットアッププログラムを起動し、[PC CARD] の [Controller Mode] の設定を変更してください。

☞ セットアッププログラム ☞ 「4章 2 セットアッププログラム」

1 MS-DOS 上で使用しようとしている

本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS モードで PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません（一部の PC カードを除く）。

デバイスとして認識されるが使用できない

IRQが不足している

使用しないデバイスを使用不可にしてください。

XP 2000

① XP

【コントロールパネル】を開き、【パフォーマンスとメンテナンス】をクリック - 【システム】をクリックする

2000

【コントロールパネル】を開き、【システム】をダブルクリックする

- ② 【ハードウェア】タブで【デバイスマネージャ】ボタンをクリックする
- ③ 【デバイスマネージャ】で使用しないデバイスの  をクリックする
- ④ 表示される項目から使用しないデバイスを右クリックし、【無効】をクリックする
確認のメッセージが表示されます。
- ⑤ 【はい】ボタンをクリックする
- ⑥ 【デバイスマネージャ】を閉じる
【システムのプロパティ】画面に戻ります。
- ⑦ 【OK】ボタンをクリックする

98

- ① 【コントロールパネル】を開き、【システム】をダブルクリックする
- ② 【デバイスマネージャ】タブで使用しないデバイスの  をクリックする
- ③ 表示される項目から使用しないデバイスを選択し、【プロパティ】ボタンをクリックする
- ④ 【全般】タブで【このハードウェアプロファイルで使用不可にする】をチェックする
- ⑤ 【OK】ボタンをクリックする
【システムのプロパティ】画面に戻ります。
- ⑥ 【閉じる】ボタンをクリックする

SDメモ리카ードについて

SDメモ리카ードが使えない

SDメモ리카ードが正しくセットされていない

SDメモ리카ードが正しい向き（コネクタ部が下向き）で挿入されているか確認してください。

SDメモ리카ードに書き込み（データの保存）ができない

 SDメモ리카ードのライトプロテクトタブが「書き込み禁止状態」になっている
SDメモ리카ードを取り出して、ライトプロテクトタブを「書き込み可能状態」にしてください。

 SDメモ리카ードの空き容量が少ない
次の操作を行なってください。

- ・ 不要なファイルやフォルダを削除して空き容量を増やし、やり直す
SDメモ리카ードから削除したファイルを元に戻すことはできません。よく確かめてから削除を行なってください。
- ・ 空き容量が十分にある別のSDメモ리카ードを使用する

フロッピーディスク、フロッピーディスクドライブについて

ファイルが開けない（読み込みエラーやディスクエラーが表示される）

 フロッピーディスクに何らかの問題がある
フロッピーディスクを次の手順でチェックしてください。

XP 2000

① XP

[スタート] - [マイコンピュータ] をクリックする

2000

[マイコンピュータ] を開く

- ② [3.5 インチFD] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
- ③ [ツール] タブで [エラーチェック] の [チェックする] ボタンをクリックする
- ④ [不良セクタをスキャンし、回復する] をチェックする
- ⑤ [開始] ボタンをクリックする
フロッピーディスクのチェックを開始します。

98

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [スキャンディスク] をクリックする
- ② [エラーチェックをするドライブ] 欄で [3.5 インチFD (A :)] を選択する
- ③ [開始] ボタンをクリックする
スキャンディスクを開始します。

 フロッピーディスクドライブが故障している
他のフロッピーディスクで試してみてください。

フォーマットに時間がかかる

-  未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットしている
Windows では、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。

フロッピーディスクからシステムが起動しない

-  フロッピーディスクドライブから起動するように設定されていない
次の操作を行なってください。

- ・ **[U]**キーを押したまま、電源スイッチを押す
一時的に、起動ドライブがフロッピーディスクドライブになります。
- ・ フロッピーディスクから起動するようにユーティリティで設定する

① XP

[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック - [東芝 HW セットアップ] をクリックする

2000 98

[コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする

- ② [OS の起動] タブで [OS の起動] を [FDD] が最初になるように設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

LAN 機能が使えない

ネットワークに接続できない

-  ネットワークの設定が正しくない
次の点をネットワーク管理者に確認してください。
- ・ Windows のネットワーク設定を確認する
- ・ 相手先のネットワーク機器 (HUB) などの設定を確認する
- ・ ケーブルの状態を確認する

USB 対応機器について

USB 対応機器が使えない

-  USB 対応機器がシステムに対応していない
USB 対応機器によっては、使用できるシステム (OS) が限られている場合があります。
-  『USB 対応機器に付属の説明書』

**正しく接続されていない**

ケーブルが、パソコン本体とUSB 対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。

**ドライバが正しくインストールされていない**

ハードウェアウィザードを実行してください。

① XP

[コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリック - [関連項目] の [ハードウェアの追加] をクリックする

2000 98

[コントロールパネル] を開き、[ハードウェアの追加と削除] (2000)、[ハードウェアの追加] (98) をダブルクリックする

② [次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

**Windows を再起動する****休止状態から復帰後、正常に動作しない****休止状態に対応していないUSB 対応機器を接続している**

USB 対応機器をUSB コネクタからはずし、もう1度接続してください。

赤外線通信について**赤外線通信ができない****赤外線通信ができる環境になっていない**

次のことを確認してください。

- ・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- ・ 赤外線ポート間の障害物を取り除く
- ・ 赤外線ポートの汚れをおとす
- ・ 赤外線ポートの設定を正しく設定する

**赤外線通信ソフトが使えない****「マイクロソフト赤外線通信ソフト」が正しく設定されていない (98)**

次の手順で設定してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニタ] をダブルクリックする
- ② [オプション] タブで [赤外線通信を使用可能にする] をチェックする



赤外線通信はできるが、データが正しく送られない



正しく通信できる環境になっていない

次のことを行なってみてください。

- ・ 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- ・ 通信先との距離を近付ける
- ・ 直射日光や蛍光灯の当たる場所からパソコンを離す
- ・ 赤外線を出す装置をパソコン本体から離す

● 音量について

● スピーカから音が聞こえない



スピーカから音が聞こえない



ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある

ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。



パソコン本体にあるボリュームダイヤルで音量を調節する



音量の設定が「ミュート」になっている

次の手順で設定を変更してください。

■方法 1

- ① **[Fn]+[Esc]** キーを押し、ミュートを解除する

■方法 2

XP

- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
- ② [サウンドとオーディオデバイス] をクリックする
[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [音量] タブの [デバイスの音量] で [ミュート] にチェックがついている場合は、チェックをはずす
- ④ つまみをドラッグして調整する
つまみを右にするとスピーカの音量が上がります。

2000 98

- ① タスクバーの [音量] アイコンをクリックする
- ② [ミュート] にチェックがついている場合は、クリックし、チェックをはずす
- ③ つまみを上下にドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



サウンドドライバがインストールされていない (XP 2000)

サウンドドライバをインストールしてください。

詳しくは、アプリケーションCDをセットして表示される画面をご覧ください。



標準の優先するデバイスが変更されている (98)

次の手順で優先するデバイスを正しく設定してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[マルチメディア] をダブルクリックする
- ② [オーディオ] タブの [再生] で [優先するデバイス] を正しく設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

● おかしい音が聞こえる



甲高い音がする



外部マイクとスピーカとでハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、この現象が起きることがあります。

次の操作を行なってください。

- ・ パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する
- ・ 使用しているソフトウェアの設定を変える
- ・ Windows 上から音量の設定を調整する

● 調子がおかしい!

● テレビ・ラジオに障害が出る



テレビ、ラジオの調子がおかしい



何らかの原因がある

次の操作を行なってください。

- ・ テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・ テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- ・ パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- ・ テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・ コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・ 受信機に屋外アンテナを使う
- ・ 平衡フィードを同軸ケーブルに替える

● 休止状態にならない

休止状態にならない ()

 ドライブ C が圧縮されている
圧縮を解凍してください。

 休止状態に対応していない周辺機器 (PC カードなど) を取り付けている
休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてください。

 休止状態が有効になっていない
休止状態が無効の状態です。[スタート] メニューの [休止状態] をクリックしても、「休止状態へ移行するには、[東芝省電力] で休止状態を許可して下さい。」というメッセージが表示され、休止状態にはなりません。
次の手順で「東芝省電力ユーティリティ」の設定を変更してください。
① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする ()
③ [OK] ボタンをクリックする

 休止状態用のファイルが壊れている
次の操作を行なってください。
① [スタート] メニューから [Windows の終了] - [MS-DOS モードで再起動する] を選択する
② HALLOC /C と入力する
③ EXIT と入力する

スタンバイ状態になってしまう

 休止状態が有効になっていない
次の手順で「東芝省電力ユーティリティ」の設定を確認してください。
① 
[コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリック - [東芝省電力] をクリックする
 
[コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする ()
③ [適用] ボタンをクリックする
④ [電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
⑤ [動作] タブでそれぞれのメニューから [休止状態] を選択する
⑥ [OK] ボタンをクリックする

- 1 スタートアップに休止状態の妨げになるアプリケーションソフトが登録されている
スタートアップからアプリケーションソフトの登録をはずし、Windowsを再起動してください。

● パソコンの動作がおかしい

- 2 バッテリーパックは充電したのに、すぐ Battery LED がオレンジ色に点滅する
 - 1 バッテリーパックの充電機能が低下している
別売りのバッテリーパックと交換してください。
- 3 使用中に処理が遅くなる
 - 1 CPUの温度が上がった
CPUは高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。
- 4 使用中に操作できなくなった
 - 1 パソコンの調子がおかしい
次の操作を行なってください。
 - ・ 電源スイッチを5秒以上押し続ける
電源スイッチを5秒以上押し続けると電源が強制切断されます。もう1度電源スイッチを押してください。この場合、保存していないデータは消失します。
 - ・ 電源をOFFにし、**[BackSpace]**キーを押しながら電源スイッチを押す ()
[BackSpace]キーは「ハイバネーションエラー」が表示されるまで押し続けてください。
 - ・ すべての電源を抜いて、再起動する
 - ① ACアダプタをはずしてから、バッテリーをはずす
電源がOFFになります。
 - ② バッテリーを取り付けてから、ACアダプタを取り付ける
 - ③ もう1度電源スイッチを押す
- 5 設定した日付と時刻が合っていない（進む／遅れる）
 - 1 時計用バッテリーが充電されていない
パソコン本体にACアダプタを接続し、時計用バッテリーを充電してください。



時計用バッテリーの充電機能が低下している
お近くの保守サービスにご連絡ください。



充電したはずのバッテリーパックを使用しても、パソコンの Battery LED
がオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない



長時間バッテリーパックを使用していなかった
長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパック
と交換して充電してください。
それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近く
の保守サービスにご連絡ください。



しばらく充電をして様子を見る
しばらく充電を続けて、様子を見てください。

● その他調子がおかしい



調子がおかしい



応答しないアプリケーションを強制終了する

☞ 「アプリケーションが使えない-Q アプリケーションが操作できなくなった」
アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、次の操作を行なっ
てください。



強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次のとおりです。この場合、作業中の保存していない
データは消去されます。

XP

- ① **[Ctrl]+[Alt]+[Del]** キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする
アキュポイント II やマウスで操作できない場合は、**[Alt]+[U]** キーを押してく
ださい。
- ③ [コンピュータの電源を切る] をクリックする
アキュポイント II やマウスで操作できない場合は、**[U]** キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ④ パソコンの電源を入れる

2000

- ① **[Ctrl]+[Alt]+[Del]**キーを押す
[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。
- ② [シャットダウン] ボタンをクリックする
アキュポイントII やマウスで操作できない場合は、**[Alt]+[S]**キーを押してください。
シャットダウン画面が表示されます。
- ③ [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
アキュポイントII やマウスで操作できない場合は、**[↑][↓]**キーで [シャットダウン] を選択し、**[Enter]**キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ④ パソコンの電源を入れる

98

- ① **[Ctrl]+[Alt]+[Del]**キーを押す
[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。
- ② [シャットダウン] ボタンをクリックする
アキュポイントII やマウスで操作できない場合は、**[Alt]+[S]**キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ③ パソコンの電源を入れる
自動的にスキャンディスクが実行されることがあります。

**ウイルスに感染している**

ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってもわからない場合、次の点をご確認ください。

**「Password =」と表示される****パスワードが設定されている**

設定したパスワードを入力し、**[Enter]**キーを押してください。
パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。
キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。
またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

- ☞ パスワード、キーフロッピーディスク
⇒ 「4章 3 パスワードセキュリティ」

 「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

 大文字ロック状態でパスワードを入力した
[Shift]+[Caps Lock 英数]キーを押して大文字ロック状態を解除し、もう1度入力してください。

 「[WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE]」と表示された

 休止状態が無効になった
電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。

 「[Previous resume from hibernate failed. Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N] ?]」と表示された

 休止状態が無効になった
電源を切る前の状態は再現できません。[Enter]キーを押してください。もう1度同じメッセージが表示された場合は、[Esc]キーを押してください。

 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」というメッセージが表示された

 ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった
画面の指示に従い、[閉じる] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。

 次のようなメッセージが表示された

- ・「[Remove disks or other medias. Press any key to restart]」
- ・「[Insert system disk in drive. Press any key when ready]」
- ・「[Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready]」
- ・「[Invalid system disk Replace the disk, and then press any key]」
- ・「[Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk]」
- ・「[Disk I/O error Replace the disk, and then press any key]」
- ・「[Cannot load DOS press key to retry]」

 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す

「Boot sequence is changed.」 と表示された

-  システム起動の順番が変更された
指定したドライブから起動を開始します。
しばらくお待ちください。

「C:¥WINDOWS>」 や 「C:¥>」 と表示された

-  MS-DOS プロンプトが全画面表示されている
次の方法を行なってください。
- 方法 1 – MS-DOS プロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える
 - ① **[Alt]+[Enter]** キーを押す
 - 方法 2 – MS-DOS プロンプト画面を終了する
 - ① **[E] [X] [I] [T]** とキーを押す
 - ② **[Enter]** キーを押す

「KBC ERROR」 と表示された

-  PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている
パソコン本体の電源を切り、PS/2 マウス、および PS/2 キーボードを取りはずしてからもう 1 度起動させてください。
それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。

「Bad ×××× ××××」 と表示された

-  セットアッププログラムを標準設定の状態にする
次の手順で行なってください。
- ① **[F1]** キーを押す
セットアッププログラムの画面が表示されます。
 セットアッププログラムの画面
 ⇨ 「4章 2-3 セットアッププログラムの画面」
 - ② **[Fn]+[←]** キーを押す
 - ③ **[Fn]+[→]** キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
 - ④ **[Y]** キーを押す
標準設定の状態にし、セットアッププログラムが終了します。
パソコンは再起動されます。

 「[WARNING : ×××××]」と表示された

 [Enter]キーを何回か押してください。

 上記以外のメッセージが表示される

 ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧ください。

異常や故障の場合

 異常な臭いや過熱に気づいた！

 パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてから販売店または保守サービスにご連絡ください。

なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

 操作できない原因がどうしてもわからない

 東芝 PC ダイヤルにご連絡ください。
ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態

東芝 PC サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝 PC サポートのご案内』をご覧ください。

付録

- 1** オンラインマニュアルについて 196
- 2** 製品仕様 197
- 3** 各インタフェースの仕様 204
- 4** 技術基準適合について 209
- 5** アプリケーションお問い合わせ先一覧 223

① オンラインマニュアルについて

Windows が起動しているときに、取扱説明書（本書）をパソコン画面上で見ることができます。

Windows 2000 モデル、Windows 98 モデルの場合は「Adobe Acrobat Reader」と「オンラインマニュアル」それぞれのインストールが必要です。

- ①「Application CD-ROM」（2000）、「アプリケーション&ドライバCD-ROM」（98）をセットする
CD-ROM は、複数枚入っている場合があります。
- ②表示されるメッセージに従ってインストールを行う
[ファイルのダウンロード] 画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

● 起動方法

- 1 デスクトップの【オンラインマニュアル】アイコンをダブルクリックする
また、次の方法でも起動できます。



[スタート] - [すべてのプログラム] - [オンラインマニュアル] をクリック
または

[スタート] - [ヘルプとサポート] をクリック - [オンラインマニュアル] をクリック -
[オンラインマニュアル] をクリック



[スタート] - [オンラインマニュアル] をクリック

「Adobe Acrobat Reader」と「オンラインマニュアル」が起動します。

初めて「Adobe Acrobat Reader」を起動したときは、[ソフトウェア使用許諾契約書] 画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、[同意する] ボタンをクリックしてください。[同意する] ボタンをクリックしないと、「Adobe Acrobat Reader」をご使用になれません。また、「オンラインマニュアル」を見ることはできません。

② 製品仕様

● 基本仕様

機種		DynaBook Satellite6000シリーズ
プロセッサ	CPU	「PC診断ツール」を参照
メモリ	ROM	4MB（フラッシュROM）、ACPI 1.0b
	RAM	「PC診断ツール」を参照（最大512MB）
	ビデオRAM	16MB（メインメモリと共用）
表示機能	表示装置	冷陰極管サイドライト方式15型TFT
	グラフィック表示	横1024×縦768 1画面
入力装置	キーボード	OADG109Aキータイプ準拠 87キー （文字キー、制御キーの合計）
	ポインティングデバイス	アキュポイントII、コントロールボタン内蔵
補助記憶装置	標準ハードディスク*1	2.5型 1台装備
	セカンドハードディスク（別売り）*1、*2、*3	スリムセレクトベイに取り付けて使用
	CD-ROMドライブ（標準装備）*2	スリムセレクトベイに取り付けて使用、最大24倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
	CD-R/RWドライブ（別売り）*2	スリムセレクトベイに取り付けて使用 CD : 最大24倍速 CD-R : 最大8倍速 CD-RW（マルチスピード）: 最大4倍速 High-Speed対応CD-RW : 最大8倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
	マルチドライブ（別売り）*2	スリムセレクトベイに取り付けて使用 CD : 最大24倍速 CD-R : 最大8倍速 CD-RW（マルチスピード）: 最大4倍速 High-Speed対応CD-RW : 最大8倍速 DVD-ROM : 最大8倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
インタフェース	RS-232C	1個装備 非同期115.2kbpsまで対応（ハードウェア仕様）
	プリンタ	1個装備（ECP）
	PS/2	1個装備
	RGB	1個装備
	USB	2個装備
	PCカード	2個装備 PC Card Standard準拠 （TYPE II ×2、またはTYPE III ×1） CardBus対応
	LAN	1個装備 100Base-TX/10Base-T
	無線LAN*4	1個装備 IEEE802.11b準拠 11Mbpsまで対応
	モデム	1個装備
	サウンド	マイク入力1個装備（Φ3.5mmモノラルミニジャック） ヘッドホン出力1個装備（Φ3.5mmステレオミニジャック） 内蔵スピーカ（ステレオ）装備
	ビデオ出力	1個装備（RCAピンジャック）
赤外線通信機能	1ポート装備 IrDA 1.1準拠	
カレンダー機能	日付、時計機能を標準装備 充電型電池によるバックアップ	

機 種		DynaBook Satellite6000シリーズ
電源	ACアダプタ	AC100V～240V (50Hz、または60Hz)
	バッテリーパック (標準装備)	Li-ion 10.8V 3600mAh
	セカンドバッテリー パック (別売り) *2	スリムセレクトベイに取り付けて使用 Li-ion 10.8V 3000mAh
最大消費電力		約75W
使用環境条件		温度：5℃～35℃ 湿度：20%～80%Rh
外形寸法 (突起部除く)		330 (幅) X 289 (奥行) X 34.8～37.1 (高さ) mm
質量		約2.7kg (ウェイトセーバ内蔵時) 約2.9kg (CD-ROMドライブ内蔵時)

- * 1 ハードディスク容量は、ハードディスクドライブのプロパティで確認できます。プロパティを表示するには、[マイコンピュータ] からハードディスクドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] をクリックします。
- * 2 スリムセレクトベイ機器は、いずれかひとつを取り付けて使用できます。
- * 3 セカンドハードディスクをスリムセレクトベイに取り付ける場合、セカンドハードディスクアダプタ (別売り) が必要です。
- * 4 無線LAN モデルのみ

● 仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

ACアダプタの仕様は次のとおりです。

入力：AC100V～240V (0.75A～0.35A) 50/60Hz

出力：DC15V、5A

また、消費電力の仕様は次のとおりです。

最大消費電力：約75W (電源スイッチオン時)

最小消費電力：約14.2W (電源スイッチオン時)

約1.4W (電源スイッチオフ時)

パソコンの電源を切った後に、電源コードを抜くと消費電力はゼロになります。

本機器は、「機器のリサイクルに適した設計」となっています。

● PC 診断ツール

「PC 診断ツール」で本製品の CPU、OS、ディスプレイなどに関する情報を確認することができます。

● 起動方法

1 XP

[スタート] - [すべてのプログラム] - [東芝ユーティリティ] - [PC 診断ツール] をクリックする

2000 98

[スタート] - [プログラム] - [東芝ユーティリティ] - [PC 診断ツール] をクリックする

PC 診断ツールが起動します。

2 [基本情報の表示] ボタンをクリックする

本製品の基本情報が表示されます。

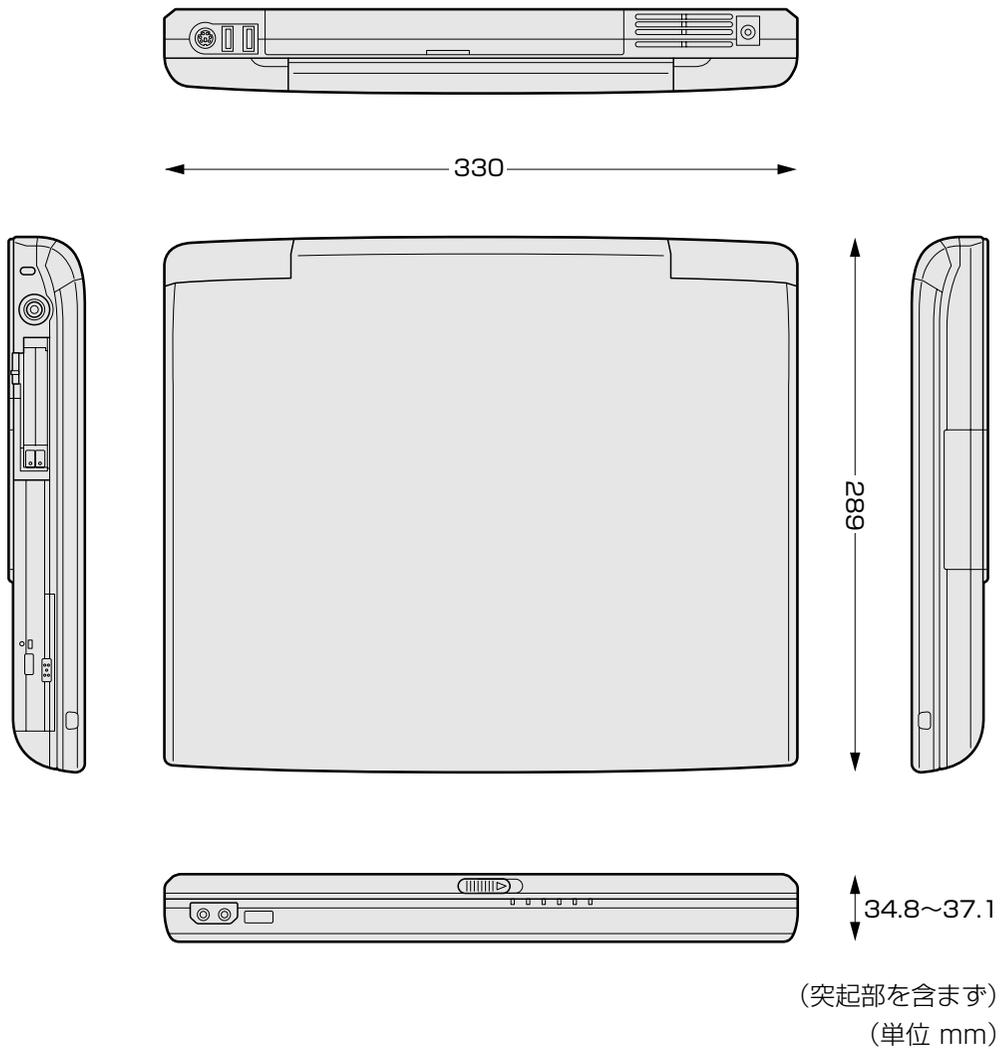
PC 診断ツールについて、詳しくは PC 診断ツールのヘルプをご覧ください。

● ヘルプの起動方法

1 PC 診断ツールを起動する

2 [ヘルプ] ボタンをクリックする

● 外形寸法図



● サポートしているビデオモード

ディスプレイコントローラによって制御される画面の解像度と表示可能な最大色数を定めた規格をビデオモードと呼びます。

本製品でサポートしている英語モード時のすべてのビデオモードを次に示します。

モードナンバは一般に、プログラマがそれぞれのモードを識別するのに用いられます。アプリケーションソフトがモードナンバによってモードを指定してくる場合、そのナンバが図のナンバと一致していないことがあります。この場合は解像度とフォントサイズと色の数をもとに選択し直してください。

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
0,1	VGAテキスト	40×25字	8×8	16/256K	70
2,3	VGAテキスト	80×25字	8×8	16/256K	70
0*,1*	VGAテキスト	40×25字	8×14	16/256K	70
2*,3*	VGAテキスト	80×25字	8×14	16/256K	70
0+,1+	VGAテキスト	40×25字	8(9)×16	16/256K	70
2+,3+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	16/256K	70
4,5	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	4/256K	70
6	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	2/256K	70
7	VGAテキスト	80×25字	8(9)×14	モノクロ	70
7+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	モノクロ	70
D	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	16/256K	70
E	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	16/256K	70
F	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	モノクロ	70
10	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	16/256K	70
11	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	2/256K	60
12	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	16/256K	60
13	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	256/256K	70

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	256/256K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	256/256K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	—	256/256K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット*1	—	256/256K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1600×1200 ドット*1	—	256/256K	60
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	64K/64K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	64K/64K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	—	64K/64K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット*1	—	64K/64K	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1600×1200 ドット*1	—	64K/64K	60
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	16M/16M	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	16M/16M	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	—	16M/16M	60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット*1	—	16M/16M	60/75

* 1 : LCD の場合は実際の画面 (1024 × 768) 内に、仮想スクリーン表示します。

本製品のディスプレイは、640 × 480 ドットのモードを選択しても、1024 × 768 ドットのタイミングで動作しています。そのため、パソコン起動直後の設定ではVGA専用のCRTディスプレイとの同時表示はできません。VGA専用のCRTディスプレイと同時表示をする場合は、「3章 11- CRTディスプレイやテレビを接続した場合」の「方法1」の手順により「LCD」と「CRT」を有効にし、また「ディファレントリフレッシュレート」をチェックしてください。

マルチモニタまたはディファレントフレッシュレートモードでご使用の場合、いくつかのモードがサポートされておりません。

また、マルチモニタでご使用の場合、液晶ディスプレイとCRTディスプレイの画面モードの組み合わせによっては画面がちらつくことがあります。その場合、液晶ディスプレイやCRTディスプレイの解像度、色数、リフレッシュレートをさげてご使用ください。

● ハードウェアリソースについて

メモリマップ、I/Oポートマップ、IRQ使用リソース、DMAチャンネルは次の方法で確認できます。

ご使用の環境（ハードウェア／ソフトウェア）によって変更される場合があります。

● Windows XP の場合

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システム] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] をクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
 - メモリマップ : [メモリ]
 - I/Oポートマップ : [I/O]
 - IRQ使用リソース : [IRQ]
 - DMAチャンネル : [DMA]

● Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
 - メモリマップ : [メモリ]
 - I/Oポートマップ : [I/O]
 - IRQ使用リソース : [IRQ]
 - DMAチャンネル : [DMA]

● Windows 98 の場合

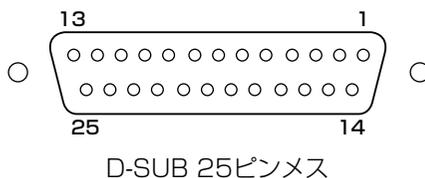
- 1 [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
 - メモリマップ : [メモリ]
 - I/Oポートマップ : [I/O]
 - IRQ使用リソース : [IRQ]
 - DMAチャンネル : [DMA]

3 各インタフェースの仕様

● PRT インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	-STROBE	PD0～7のデータを書き込むための同期出力信号	O
2	PD0	PD0のデータを送信する信号	I/O
3	PD1	PD1のデータを送信する信号	I/O
4	PD2	PD2のデータを送信する信号	I/O
5	PD3	PD3のデータを送信する信号	I/O
6	PD4	PD4のデータを送信する信号	I/O
7	PD5	PD5のデータを送信する信号	I/O
8	PD6	PD6のデータを送信する信号	I/O
9	PD7	PD7のデータを送信する信号	I/O
10	-ACK	-STROBEに対するデータ受信完了信号	I
11	BUSY	データ受信できるかどうかを示すステータス信号	I
12	PE	用紙切れを知らせるステータス信号	I
13	SELCT	セレクト／ディセレクト状態を示すステータス信号	I
14	-AUTFD	自動用紙送り機構用信号	O
15	-ERROR	アラーム状態を示すステータス信号	I
16	-PINT	初期状態に戻す信号	O
17	-SLIN	未使用	O
18	GND	信号グランド	
19	GND	信号グランド	
20	GND	信号グランド	
21	GND	信号グランド	
22	GND	信号グランド	
23	GND	信号グランド	
24	GND	信号グランド	
25	GND	信号グランド	

コネクタ図



信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。

信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

● COMMS インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

コネクタ図



信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

● PS/2 インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	MOUSDT	マウスデータ	I/O
2	EXTKBDT	キーボードデータ	
3	GND	グランド	
4	VCC	5V	
5	MOUSCK	マウスクロック	I/O
6	EXTKBCK	キーボードクロック	I/O

コネクタ図



信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

● RGB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	0
2	CGV	緑色ビデオ信号	0
3	CBV	青色ビデオ信号	0
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	IDO	モニタID	
12	SDA	SDA通信信号	
13	-CHSYNC	水平同期信号	0
14	-CVSYNC	垂直同期信号	0
15	SCL	SCLデータクロック信号	

コネクタ図

高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。

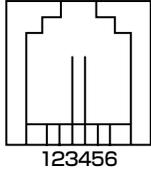
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

● モデムインターフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	-	ノーコンタクト	
2	-	ノーコンタクト	
3	TIP	電話回線	I/O
4	RING	電話回線	I/O
5	-	ノーコンタクト	
6	-	ノーコンタクト	

コネクタ図



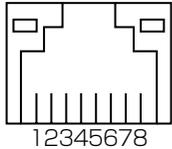
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

● LAN インターフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TX	送信データ (+)	O
2	-TX	送信データ (-)	O
3	RX	受信データ (+)	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ (-)	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

コネクタ図

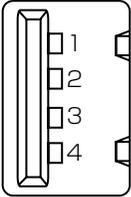


信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。

信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

● USB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	VCC	+5V	
2	-Data	マイナスデータ	I/O
3	+Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グランド	
コネクタ図			
			

信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。

信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

4 技術基準適合について

● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



省電力設定について ⇨ 「3章 4-5 東芝省電力ユーティリティ」

FCC information

Product name : DynaBook Satellite 6000 series
Model number : PS600

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by TOSHIBA is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's external monitor port, parallel port, serial port, USB port, PS/2 mouse/keyboard port and microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by TOSHIBA or parties authorized by TOSHIBA could void the user's authority to operate the equipment.

FCC conditions

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address: TOSHIBA America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697

Telephone: (949) 583-3000

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity



TOSHIBA declares, that the product: PS600* conforms to the following Standards:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC, the EMC Directive 89/336/EEC and/or the R&TTE Directive 1999/05/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

● モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第 50 条 1 項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。



認定番号
A00-0940JP

● 使用地域

内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルク、レバノン、ロシア

(2001 年 12 月現在)

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線が PBX 等を経由する場合は使用できない場合があります。上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

● 自動再発信の制限

内蔵モデムは 2 回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を 2 回以下または再発信間隔を 1 分以上にしてください）。

*内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は 2 回以内（但し、最初の発信から 3 分以内）」に従っています。



お願い

- ・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる地域にあわせてモデムの地域設定が必要です。

☎ 「3 章 11- 電話回線への接続」

Conformity Statement

The equipment has been approved to [Commission Decision “CTR21”] for pan-European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN).

However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries/regions the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

Network Compatibility Statement

This product is designed to work with, and is compatible with the following networks. It has been tested to and found to confirm with the additional requirements conditional in EG 201 121.

Germany	- ATAAB AN005,AN006,AN007,AN009,AN010 and DE03,04,05,08,09,12,14,17
Greece	- ATAAB AN005,AN006 and GR01,02,03,04
Portugal	- ATAAB AN001,005,006,007,011 and P03,04,08,10
Spain	- ATAAB AN005,007,012, and ES01
Switzerland	- ATAAB AN002
All other countries/regions	- ATAAB AN003,004

Specific switch settings or software setup are required for each network, please refer to the relevant sections of the user guide for more details.

The hookflash (timed break register recall) function is subject to separate national type approvals. If has not been tested for conformity to national type regulations, and no guarantee of successful operation of that specific function on specific national networks can be given.

Pursuant to FCC CFR 47, Part 68:

When you are ready to install or use the modem, call your local telephone company and give them the following information:

- The telephone number of the line to which you will connect the modem
- The registration number that is located on the device

The FCC registration number of the modem will be found on either the device which is to be installed, or, if already installed, on the bottom of the computer outside of the main system label.

- The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.
For the REN of your modem, refer to your modem's label.

The modem connects to the telephone line by means of a standard jack called the USOC RJ11C.

Type of service

Your modem is designed to be used on standard-device telephone lines.

Connection to telephone company-provided coin service (central office implemented systems) is prohibited. Connection to party lines service is subject to state tariffs. If you have any questions about your telephone line, such as how many pieces of equipment you can connect to it, the telephone company will provide this information upon request.

Telephone company procedures

The goal of the telephone company is to provide you with the best service it can.

In order to do this, it may occasionally be necessary for them to make changes in their equipment, operations, or procedures. If these changes might affect your service or the operation of your equipment, the telephone company will give you notice in writing to allow you to make any changes necessary to maintain uninterrupted service.

If problems arise

If any of your telephone equipment is not operating properly, you should immediately remove it from your telephone line, as it may cause harm to the telephone network. If the telephone company notes a problem, they may temporarily discontinue service. When practical, they will notify you in advance of this disconnection. If advance notice is not feasible, you will be notified as soon as possible. When you are notified, you will be given the opportunity to correct the problem and informed of your right to file a complaint with the FCC.

In the event repairs are ever needed on your modem, they should be performed by TOSHIBA Corporation or an authorized representative of TOSHIBA Corporation.

Disconnection

If you should ever decide to permanently disconnect your modem from its present line, please call the telephone company and let them know of this change.

Fax branding

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone fax machine unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity or individual.

In order to program this information into your fax modem, you should complete the setup of your fax software before sending messages.

Instructions for IC CS-03 certified equipment

1 NOTICE: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications network protective, operational and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirements document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.

Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection.

The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations.

Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together.

This precaution may be particularly important in rural areas.

Caution: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate.

2 The user manual of analog equipment must contain the equipment's Ringer Equivalence Number (REN) and an explanation notice similar to the following:

The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.

For the REN of your modem, refer to your modem's label.

NOTICE: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

3 The standard connecting arrangement (telephone jack type) for this equipment is jack type(s): USOC RJ11C.

CANADA: 1353 11026A

Notes for Users in Australia and New Zealand

Modem warning notice for Australia

Modems connected to the Australian telecoms network must have a valid Austel permit. This modem has been designed to specifically configure to ensure compliance with Austel standards when the region selection is set to Australia.

The use of other region setting while the modem is attached to the Australian PSTN would result in you modem being operated in a non-compliant manner.

To verify that the region is correctly set, enter the command ATI which displays the currently active setting.

To set the region permanently to Australia, enter the following command sequence:

```
AT%TE=1
ATS133=1
AT&F
AT&W
AT%TE=0
ATZ
```

Failure to set the modem to the Australia region setting as shown above will result in the modem being operated in a non-compliant manner. Consequently, there would be no permit in force for this equipment and the Telecoms Act 1991 prescribes a penalty of \$12,000 for the connection of non-permitted equipment.

Notes for use of this device in New Zealand

- The grant of a Telepermit for a device in no way indicates Telecom acceptance of responsibility for the correct operation of that device under all operating conditions. In particular the higher speeds at which this modem is capable of operating depend on a specific network implementation which is only one of many ways of delivering high quality voice telephony to customers. Failure to operate should not be reported as a fault to Telecom.
- In addition to satisfactory line conditions a modem can only work properly if:
 - a/ it is compatible with the modem at the other end of the call and
 - b/ the application using the modem is compatible with the application at the other end of the call - e.g., accessing the Internet requires suitable software in addition to a modem.
- This equipment shall not be used in any manner which could constitute a nuisance to other Telecom customers.

- Some parameters required for compliance with Telecom's PTC
 - Specifications are dependent on the equipment (PC) associated with this modem. The associated equipment shall be set to operate within the following limits for compliance with Telecom Specifications:
 - a/ There shall be no more than 10 call attempts to the same number within any 30 minute period for any single manual call initiation, and
 - b/ The equipment shall go on-hook for a period of not less than 30 seconds between the end of one attempt and the beginning of the next.
 - c/ Automatic calls to different numbers shall be not less than 5 seconds apart.
- Immediately disconnect this equipment should it become physically damaged, and arrange for its disposal or repair.
- The correct settings for use with this modem in New Zealand are as follows:
 - ATB0 (CCITT operation)
 - AT&G2 (1800 Hz guard tone)
 - AT&P1 (Decadic dialing make-break ratio =33%/67%)
 - ATS0=0 (not auto answer)
 - ATS6=4(Blind dial delay)
 - ATS7=less than 90 (Time to wait to carrier after dialing)
 - ATS10=less than 150 (loss of carrier to hangup delay, factory default of 15 recommended)
 - ATS11=90 (DTMF dialing on/off duration=90 ms)
 - ATX2 (Dial tone detect, but not (U.S.A.) call progress detect)
- When used in the Auto Answer mode, the S0 register must be set with a value 3 or 4. This ensures:
 - (a) a person calling your modem will hear a short burst of ringing before the modem answers. This confirms that the call has been successfully switched through the network.
 - (b) caller identification information (which occurs between the first and second ring cadences) is not destroyed.
- The preferred method of dialing is to use DTMF tones (ATDT...) as this is faster and more reliable than pulse (decadic) dialing. If for some reason you must use decadic dialing, your communications program must be set up to record numbers using the following translation table as this modem does not implement the New Zealand "Reverse Dialing" standard.
 - Number to be dialed: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - Number to program into computer: 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1
 - Note that where DTMF dialing is used, the numbers should be entered normally.
- The transmit level from this device is set at a fixed level and because of this there may be circumstances where the performance is less than optimal. Before reporting such occurrences as faults, please check the line with a standard Telepermitted telephone, and only report a fault if the phone performance is impaired.

- It is recommended that this equipment be disconnected from the Telecom line during electrical storms.
- When relocating the equipment, always disconnect the Telecom line connection before the power connection, and reconnect the power first.
- This equipment may not be compatible with Telecom Distinctive Alert cadences and services such as FaxAbility.

NOTE THAT FAULT CALLOUTS CAUSED BY ANY OF THE ABOVE CAUSES MAY INCUR A CHARGE FROM TELECOM

General conditions

As required by PTC 100, please ensure that this office is advised of any changes to the specifications of these products which might affect compliance with the relevant PTC Specifications.

The grant of this Telepermit is specific to the above products with the marketing description as stated on the Telepermit label artwork. The Telepermit may not be assigned to other parties or other products without Telecom approval.

A Telepermit artwork for each device is included from which you may prepare any number of Telepermit labels subject to the general instructions on format, size and colour on the attached sheet.

The Telepermit label must be displayed on the product at all times as proof to purchasers and service personnel that the product is able to be legitimately connected to the Telecom network.

The Telepermit label may also be shown on the packaging of the product and in the sales literature, as required in PTC 100.

The charge for a Telepermit assessment is \$337.50. An additional charge of \$337.50 is payable where an assessment is based on reports against non-Telecom New Zealand Specifications. \$112.50 is charged for each variation when submitted at the same time as the original.

An invoice for \$NZ1237.50 will be sent under separate cover.

TEAC CD-ROM ドライブ CD-224E

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

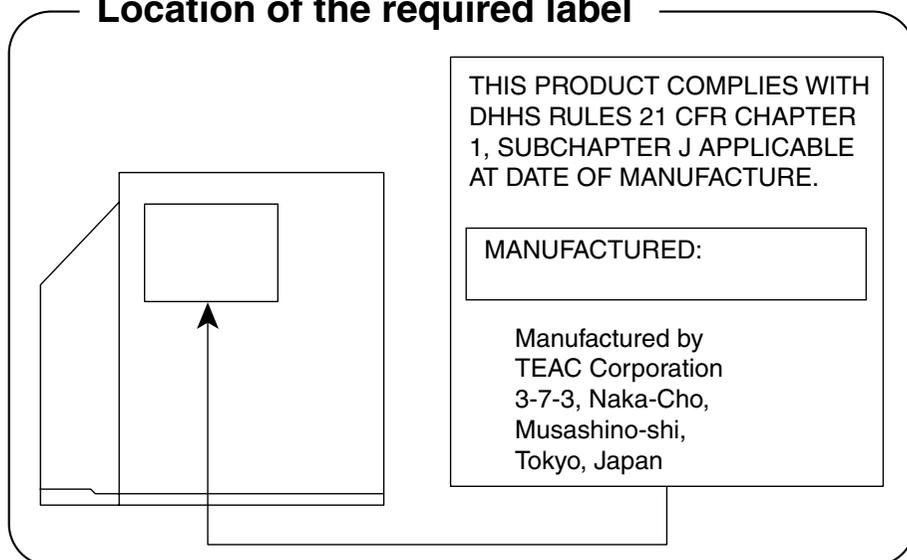
⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825
で“クラス1レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この
装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因に
なります。信頼性、安全性、性能の保証をすることが
できなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあり
ます。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、
障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故
障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシ
ステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION - INVISIBLE LASER RADIATION WHEN
OPEN DO NOT STARE INTO BEAM OR
VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL
INSTRUMENTS
VORSICHT - UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG,
WENN ABDECKUNG GEÖFFNET NICHT
IN DEN STRAHL BLICKEN AUCH NICHT
MIT OPTISCHEN INSTRUMENTEN
VARNING - OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR
DENNA DEL ÄR ÖPPNAD STIRRA EJ IN I
STRÅLEN OCH BETRAKTA EJ STRÅLEN
MED OPTISKA INSTRUMENT

Location of the required label



松下 CD-R/RW ドライブ UJDA340

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全本性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM. JDGS0150ZA

ATTENTION RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE.
EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.

VORSICHT UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET.
NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.

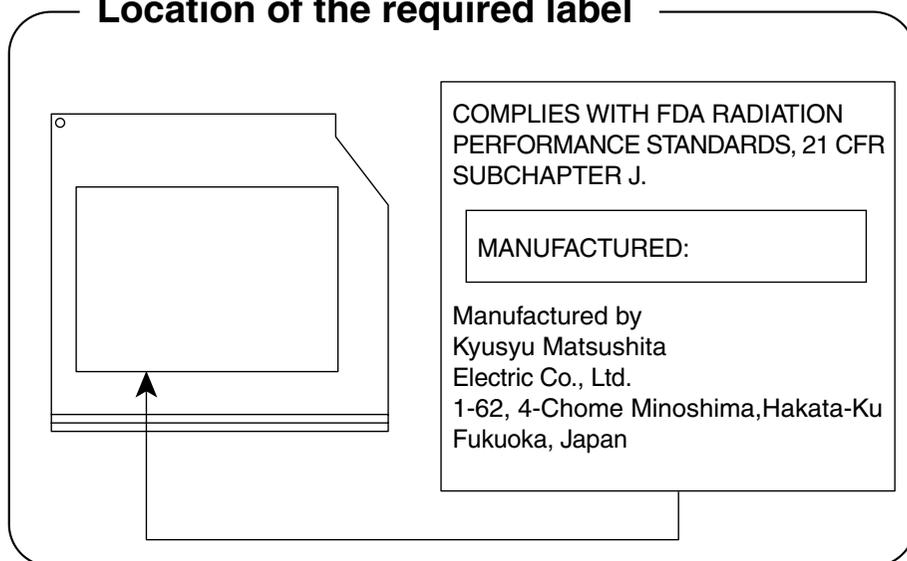
ADVARSEL USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLEN.

ADVARSEL USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.

WARNING OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÅR ÖPPNAD. STRÅLEN ÅR FARLIG.

VARO! NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

Location of the required label



TEAC CD-R/RW ドライブ CD-W28E

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

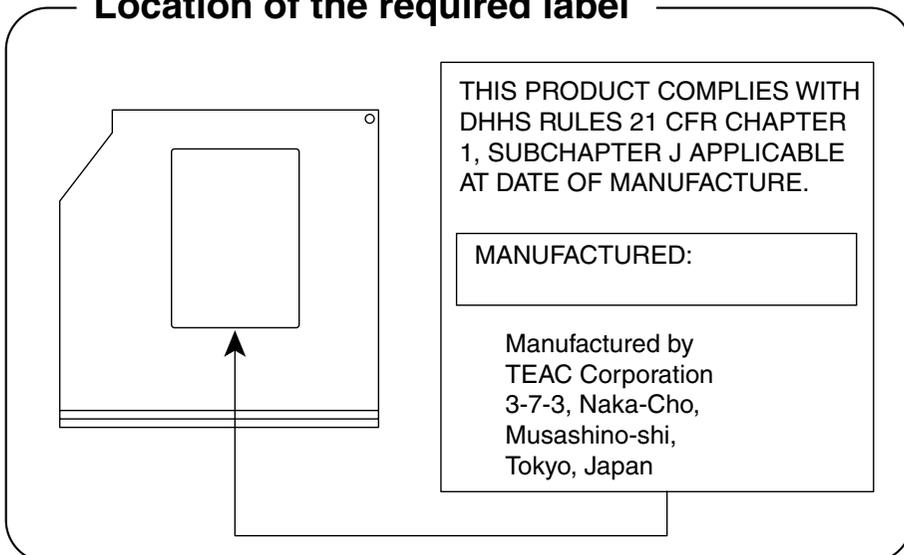
⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO!	NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.

Location of the required label



松下 CD-R/RW / DVD-ROM ドライブ UJDA720 (マルチドライブ)

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

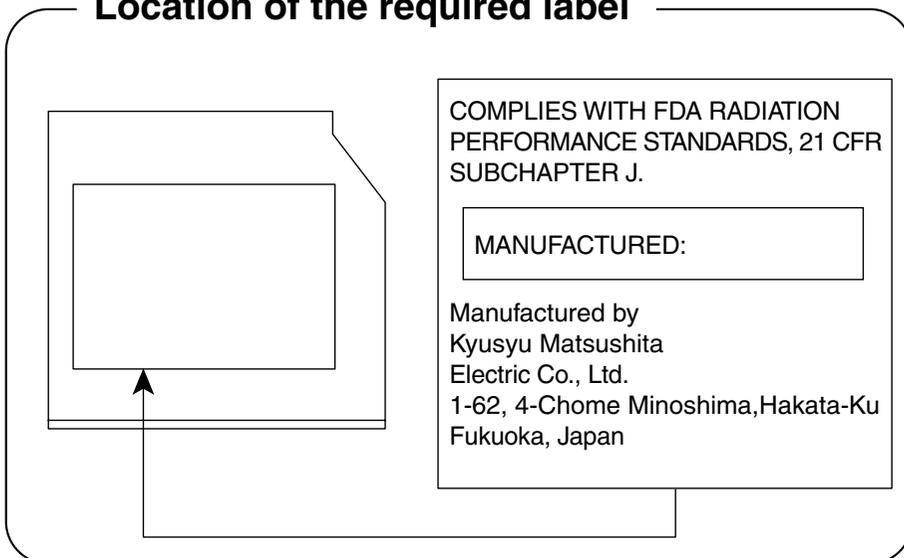
⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825
で“クラス1レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この
装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因に
なります。信頼性、安全性、性能の保証をすることが
できなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあり
ます。従って、本装置を使用するシステムには、これ
らの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および
事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分
な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデー
タの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を
使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
WARNING	SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO !	NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALLTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

Location of the required label



5 アプリケーションお問い合わせ先一覧

本製品にインストールされているアプリケーションのお問い合わせ先をご紹介します
(2001年12月現在)。

インストールされているアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

アプリケーション名：

Internet Explorer／Outlook Express／PC診断ツール／東芝省電力ユーティリティ／
東芝HWセットアップ／内蔵モデム用地域選択ユーティリティ

お問い合わせ先：

東芝PCダイヤル

ナビダイヤル 0570-00-3100

受付時間：9:00～19:00（祝日、12/31～1/3を除く）

電話番号はおまちがえのないよう、お確かめの上、おかけいただきますようお願いいたします。
お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）
の最寄りの拠点に自動的に接続されます。

拠点までの電話料金は有料となります。海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に
接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、
043-298-8780でお受けしています。

ご注意

- ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全
国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません（サポート料金は
無料です）。
- ・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用
することになりますので、あらかじめご了承ください。

アプリケーション名：

Microsoft Bookshelf Basic／Microsoft Excel／Microsoft Outlook／Microsoft Word

お問い合わせ先：

マイクロソフト株式会社 お問い合わせ各種窓口

●無償サポート専用回線

・セットアップ、インストールに関するお問い合わせ

TEL : 東京：03-5354-4500 大阪：06-6347-4400

受付時間：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）

10:00～17:00（土曜日・日曜日）

（指定休業日、年末年始、祝祭日を除く）

期間、回数：指定はございません。

・基本操作に関するお問い合わせ

TEL : 東京：03-5354-4500 大阪：06-6347-4400

受付時間：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）

10:00～17:00（土曜日）

（指定休業日、年末年始、祝祭日、日曜日を除く）

期間 : 指定はございません。

回数 : 4件のご質問

・早急に回答が必要な場合

サポートオンライン

<http://www.microsoft.com/japan/support/>

サポートオンラインではよく寄せられる質問の回答集を検索することができます。

・情報交換しながら問題解決する

ニュースグループ

http://www.microsoft.com/japan/support/oj_newsg.htm

ニュースグループではマイクロソフト製品に関して他の方や技術的な知識を持った方とコミュニケーションすることができます。製品情報やヒント、テクニックの交換の場としてご活用ください。

※ニュースグループに参加する際は、上記URL内にある「サービスの範囲とルール」を必ずご覧ください。ニュースを閲覧/投稿する際には、Outlook Expressなどのニュースリーダーが必要です。

●非技術的なお問い合わせ窓口

（マニュアルの乱丁・落丁、ディスク不良、欠品およびオフィシャルユーザー登録/変更などやご購入前の製品/これから発売される製品に関するお問い合わせ）

マイクロソフトカスタマーインフォメーションセンター

TEL : 03-5454-2300（技術サポート以外）

受付時間：9:30～12:00、13:00～17:30

（当センター休業日・年末年始・土・日・祝祭日を除く）

※ご購入前の製品やこれから発売される製品に関するお問い合わせは、お電話でのみ受け付けています。

上記以外に聴覚・言語に障害があるかたのための窓口もご用意させていただいております。

アプリケーション名：

いきなりインターネット

お問い合わせ先：

東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口

TEL : 044-201-0450

受付時間 : 10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日、当社休業日を除く）

FAX : 044-246-1131

FAX・音声情報サービス：044-201-0449（24時間受付）

E-mail : support@staff.pep.ne.jp

ホームページ：<http://www.pep.ne.jp/>



記号

 キーを使ったショートカットキー 56

A

ACアダプタ 51
 ACアダプタの接続 12
 Alt キー 52, 53
 Arrow Mode LED 53
 Auto Power On 130

B

BackSpace キー 53
 BATTERY 125
 Battery LED 50
 Battery Save Mode 125
 BOOT PRIORITY 131
 Boot Priority 131
 Break キー 53
 Built-in HDD 135
 Built-in LAN 135

C

Caps Lock LED 52
 Caps Lock 英数キー 52
 CD-R/RW ドライブ 82
 CD-ROM ドライブ 77
 CDのセット 78
 CDの取り扱い 158
 CDの取り出し 79
 COMMS コネクタ 104
 CONFIGURATION 132
 Controller Mode 134
 CPU Cache 129
 Ctrl キー 52, 53

D

DC IN LED 13, 50
 Del キー 53
 Device Config 132
 Disk LED 50
 DISPLAY 128
 DRIVES I/O 135
 DVDの取り扱い 158
 Dynamic CPU Frequency Mode 129

E

Enter キー 53
 Esc キー 52
 Ext Keyboard "Fn" 127

F

Fn キー 52
 Fn キーを使った特殊機能キー 54

H

Hard Disk Mode 128
 HDD Priority 131

I

I/O PORTS 133
 Ins キー 53

L

LAN コネクタ 104
 LCD Display Stretch 128
 LEGACY EMULATION 134
 Level 2 Cache 129

M

MEMORY 125
 MS-IME 58

N

Not Registered 125
 Numeric Mode LED 53

O

OTHERS 129

P

Panel Power On/Off 131
 Parallel 133
 Parallel Port Mode 128
 PASSWORD 125
 Pause キー 53
 PC CARD 134
 PCI BUS 133
 PCI Bus 133
 PCI LAN 135
 PC カード 92

PCカードスロット	50
PCカードの取り付け	93
PCカードの取りはずし	94
PERIPHERAL	127
Pointing Devices	127
Power LED	13, 50
Power On Boot Select	132
Power On Display	128
Power-up Mode	129
Product Recovery CD-ROM	145
PrtSc キー	53
PRT コネクタ	104
PS/2 コネクタ	104

R

Registered	125
RGB コネクタ	104

S

SD Card LED	50, 98
SD メモリカード	97
SD メモリカードスロット	50
SD メモリカードのセット	99
SD メモリカードの取り扱い	160
SD メモリカードの取り出し	99
Select Bay	135
Serial	133
Shift キー	52, 53
Slim Select Bay LED	50
Space キー	52
SysRq キー	53

T

Tab キー	52
Total	125
TV Type	128

U

USB KB/Mouse Legacy Emulation ...	134
USB-FDD Legacy Emulation	134
USB コネクタ	104

W

Windows セットアップ	14
Win キー	52

ア

アキュポイントII	36, 50
アキュポイントIIの取り扱い	158
アフターケア	162
アプリケーション&ドライバCD-ROM ...	145
アプリケーションCD	145
アプリケーションキー	53
アロー状態	55

イ

インスタントセキュリティ機能	54
インタフェースへの接続	103

ウ

ウェイトセーバ	51
---------------	----

エ

液晶ディスプレイの取り扱い	157
---------------------	-----

オ

オーバーレイキー	53
オーバーレイ機能	55, 56
大文字ロック状態	57

カ

書き込み可能状態 (SD メモリカード)	98
書き込み可能状態 (フロッピーディスク) ...	75
書き込み禁止状態 (SD メモリカード)	98
書き込み禁止状態 (フロッピーディスク) ...	75
カスタム・リカバリCD	145
カタカナ／ひらがなキー	53
カナロック状態	57
漢字キー	52

キ

キーフロッピーディスクの作成	138
キーフロッピーディスクの使用	141
キーボード	50
キーボードの取り扱い	157
吸気孔	51
休止状態	44

ク

クリック	36
------------	----

ケ	
ケーブルを接続するとき	103

コ	
コントロールボタン (小)	36, 50
コントロールボタン (大)	36, 50

サ	
再セットアップ	144
サイドライト用 FL 管	157
サウンド	60

シ	
システムインジケータ	50
使用できる CD	77
使用できる PC カード	92

ス	
スーパーバイザパスワード	136, 140
数字ロック状態	56
スクロール	36
スタンバイ機能	41
スピーカ	50
スリムセレクトベイ	50, 80

セ	
セカンドハードディスク	86
セカンドバッテリーパック	61, 91
セカンドバッテリーパックの充電時間	64
赤外線ポート	50
セキュリティロック・スロット	50
セットアップ (Windows 2000)	21
セットアップ (Windows 98)	29
セットアップ (Windows XP)	16
セットアッププログラム	121

ソ	
増設メモリ	100
増設メモリスロット	51
増設メモリの取り付け	101
増設メモリの取りはずし	102

タ	
ダブルクリック	36

テ	
データのバックアップ	160
ディスプレイ	50
ディスプレイ開閉ラッチ	12, 50
電源コード	51
電源コードの接続	12
電源コードの取り扱い	156
電源コネクタ	51
電源スイッチ	50
電源に接続する	12
電源を入れる (2 回目以降)	38
電源を入れる (初回)	14
電源を切る	39
電話回線への接続	108

ト	
東芝 HW セットアップ	116
東芝省電力ユーティリティ	68
特殊機能キー	57
時計用バッテリー	65
ドラッグアンドドロップ	36

ナ	
内蔵モデム用地域選択ユーティリティ ...	110

ニ	
日本語入力システム	58

ハ	
廃棄	163
パスワードセキュリティ機能	136
パスワードとして使用できる文字	136
パスワードの入力	141
パソコン本体の取り扱い	156
バッテリー充電量の減少	63
バッテリー充電量を確認する	62
バッテリーの充電時間	64
バッテリーの充電方法	64
バッテリーパック	51, 61
バッテリーパックの取りはずし/取り付け ...	66
バッテリーを節約する	67
パネルスイッチ機能	48
半/全キー	52

ヒ

ビデオ出力端子	105
表示装置の切り替え	106
表示不良画素	157

フ

ファンクションキー	52
フォーマット (フロッピーディスク)	76
フロッピーディスク	75
フロッピーディスクドライブ	74
フロッピーディスクドライブの 取り扱い	159
フロッピーディスクの取り扱い	159

ヘ

ヘッドホン出力端子	105
変換キー	53

ホ

ポインタ	36
ホットインサージョン	92
ボリュームコントロール	60
ボリュームダイヤル	50, 60

マ

マイク入力端子	105
マルチドライブ	82

ム

無変換キー	52
-------------	----

モ

文字キー	54
モジュラーケーブル	51
モジュラーケーブルの取り付け	109
モジュラーケーブルの取りはずし	110
モジュラージャック	104
持ち運ぶとき	161

ヤ

矢印キー	53
------------	----

ユ

ユーザ登録	35
ユーザパスワード	136
ユーザパスワードの削除	139
ユーザパスワードの登録	137
ユーザパスワードを忘れてしまった場合	141

ラ

ライトプロテクトタブ (SDメモ리카ード)	98
ライトプロテクトタブ (フロッピーディスク)	75

リ

リカバリCD	145
リリース情報	1

ロ

ローマ字キー	53
--------------	----

ワ

ワイヤレスコミュニケーションLED	50
ワイヤレスコミュニケーションスイッチ	105